

日常生活状況報告

小学生以上・成人用

2. 問題行動以下の1~10の項目の【問題行動の頻度】について、受傷前後の経過する数字に〇をつけて下さい。

【問題行動の頻度】

記入年月日				記入者名			
患者様 氏名	年 月 日	男 性	女 性	患者様との 関係	患者様との 同居の有無	は い いえ	
生年月日							
利き手	右 手	左 手	両 手	患者様との 関係	患者様との 同居の有無	は い いえ	
【記入上の注意】ご家族、近親者、または介護の方がご記入ください。							

1. 日常活動(以下の1~30の項目の【他の程度】の状態について、受傷前後の該当する数字に〇をつけて下さい)

【能力強度】

問題がない。	多少問題はあるが、あらかじめ警戒をしておいたり、環境を整えておけば一人で安定して行える。	頻繁に行動するが、行動の範囲が狭くなるので方を示すなど、冒険以外の直接的な手助けが必要。	頻繁に行動するが、手助けなどをして貰うために、警戒をしなければならない場合。	(当時はまだいい)
0	1	2	3	4

3. 日常の活動および適応状況(家庭、地域社会、職場、学校などにおいて、日常の活動状況や適応状況について、該当する数字に〇をつけて下さい。)

*下記4.にも具体的にご記入ください。

受傷後(年 月)							
1 起床・就寝時間を作りますか。	0	1	2	3	4	N	N
2 日課にこなしたたら行動をしてしまいますか。	0	1	2	3	4	N	N
3 食事による手を手を理解できません。	0	1	2	3	4	N	N
4 正しい内容の話を十分伝えられません。	0	1	2	3	4	N	N
5 電話や長文の話を理解して手紙で返信ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
6 適当な量の食事を自分で食べ、家庭へ適切な伝言ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
7 飲食などの手を自分で取ることと、配膳や食器洗いができますか。	0	1	2	3	4	N	N
8 前見の調査を理解し、医師の指示どおりに実行できますか。	0	1	2	3	4	N	N
9 行き先の場所を理解し、医師の指示どおりに実行できますか。	0	1	2	3	4	N	N
10 通勤や通学あるいは通院などのときに、安全に動き回ることができますか。	0	1	2	3	4	N	N
11 交換排泄の利用で、如交替入浴、坐浴、乗浴等、目的別での排泄などができますか。	0	1	2	3	4	N	N
12 施設や研究所などの施設・施設、施設での必要な運動ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
13 日用品の使用ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
14 日常生活は必要な金具整理ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
15 体調を切り分けてして、体調不良の状態をしたが、筋肉や骨の状態ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
16 屋内での必要性を理解し、服薬の時間、薬を間違えず、飲み忘れないですか。	0	1	2	3	4	N	N
17 研究室をついて、研究の必要性などの理解や判断ができるですか。	0	1	2	3	4	N	N
18 屋外での散歩、運動などの大柄な物の管理ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
19 他人からの借物の返却のための返却ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
20 タイミングや手の持たぬきの手際が安全のための準備ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
21 メモ帳やカレンダーなどを利用して予定を管理できますか。	0	1	2	3	4	N	N
22 ハンディセーバー、ダッシュ、QOL、医療、メールなどに慣れていますか。	0	1	2	3	4	N	N
23 人とおしゃべり、会話、面接などの日常生活で問題が発生しますか。	0	1	2	3	4	N	N
24 内容がおもてなし難い場合は、丁寧な対応ができますか。	0	1	2	3	4	N	N
25 人と付き合った場合には、社会的知識や基本的なマナーに基づいた行動をしていますか。	0	1	2	3	4	N	N
26 一日の状況について、何が得意で、何が苦手ですか。	0	1	2	3	4	N	N
27 学校から家庭への連絡が取れません。	0	1	2	3	4	N	N
28 休み時間や休憩時間に、周囲の人たちと話すのが苦手ですか。	0	1	2	3	4	N	N
29 朝日の昇る方向の方向感覚がわかりません。	0	1	2	3	4	N	N
30 体として学校に行つて、授業も普通です。	0	1	2	3	4	N	N

4. 上記1~3の症状状態が、日常生活にどのような影響を与えているか、事故前後の生活状況の変化、現在支障が生じることなど、現体的にご記入ください。

(記入欄にエビギートなどを書き入れなければ、別の用紙に記入して添付してください。)

1 家庭・地域社会・職場、または学校などでの営業はいかで、間隔なく活動、宿泊している。
2 家庭・地域社会・職場、または学校における活動、休暇、旅行等に、ごくわずかの問題がある。
3 家庭・地域社会・職場、または学校における活動には若干の不満があるが、しかし、全般的には良好な状況である。
4 間隔もかなりある。
5 (例)友達が少し悪い、友達が少し悪い、など、人間関係に問題がある。
6 家庭・地域社会・職場、または学校で、ややかかる困難がある。
7 (例)友達が少し悪い、友達が少し悪い、など、人間関係に問題がある。
8 家庭・地域社会・職場、または学校で、機知を失したり、人と関わることができない。
9 最低限の身辺の事情や判断能力ができない部分がある。一人ではほとんど生活が出来ない。
10 最低限の身辺の問題はほぼ無能地帯を形成している。

5. 就労・就学状況(事故前後の就労・就学状況について、該当する項目に○をつけ、理由等をご記入ください。)

就労状況 現在	a. 就労している (職業:)	
	b. 就労していない (理由:)	
就労状況 現在	a. 就労している: 1. 元の職場に復帰 (正社員転換の 有・無) 2. 業務的就労 糜透所・作業所・接種施設 3. その他 - 内容: ※ 就労している場合の具体的な仕事の状況	
	a. 就労していない (理由:)	

※事故時で就学中であった方はご記入ください

就学状況 現在	a. 就学している(普通学校・支援学校・養護学校) b. 就学していない (理由:)	
	※ 就学している場合の具体的な就学の状況	

仕事や学校を辞めた場合、あるいは変更した場合は、その理由やいきさつを以下に記入してください。

6. 身の回り動作能力 該当する項目に○をつけてください。

食事動作	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.全面的に介助
更衣動作	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.全面的に介助
排尿・排便動作	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.全面的に介助
入浴動作	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.全面的に介助
屋内歩行	1.自立 2.つながら歩き(車椅子) 3.つながら歩き(器具/歩行器) 4.屋内歩行不能
屋外歩行	1.自立 2.どちらか介助(運くへ行けない) 3.どちらか介助(運くへ行けない) 4.屋外歩行不能
階段昇降	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.階段昇降不能
車いす操作	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.車いす自働不能
公共交通機関	1.自立 2.どちらか介助・見守り・声かけ 3.ほとんどできない/大部分介助 4.公共交通機関は利用できない

7. 上記6.に基づき、声かけ、見守り、介助が必要な理由 それらの内容、頻度を具体的にご記入ください。

(介護保険の認定がありましたら、介護認定通知書等の写真を添付下さい)

B. 生活状況(事故前の生活状況について、該当する項目に○をつけ、理由等をご記入ください。)

事故前	a. 独居 b. 他の家族と同居 c. その他(下欄にご記載下さい)
	d. 医療機関に入院中(医療機関名:) e. その他(下欄にご記載下さい)
現在	a. 独居 b. 他の家族と同居 c. その他(下欄にご記載下さい)